令和元年度指定管理業務　評価票

１ 基本事項

⑴公の施設の名称	糸魚川シーサイドバレースキー場
⑵施設の設置目的	交流人口の増大を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与するため。
⑶所管部署	商工観光課
⑷指定管理者	株式会社　糸魚川シーサイドバレー
⑸指定期間	平成29年４月１日から令和２年３月31日までの３年間
⑹主な事業	

※　施設の運営・管理に関する業務

スキー場　①利用料金の徴収・レンタル用品の貸し出し　②リフト運行の安全確保・点検整備・場内のパトロール　③負傷者の早期発見・処置　④備品の維持管理　⑤ゲレンデ整備・維持管理

宿泊・温泉　①宿泊・温泉利用料金の徴収　②宴会・料理の提供　③宿泊・入浴施設の点検・維持管理

２ 管理運営状況

⑴令和元年度管理運営状況（主要な取組・成果、地域貢献等の実績）

○冬季・夏季とも利用客の増強のため、学校・サークル等の合宿や授業等の誘致に努めている。
○オートバイ、４輪バギー等の走行会やコンサートなどのイベントを実施し、若い年齢層を誘客するための事業に取り組んでいる。
○スポーツショップと提携をし、新規利用者の誘客をするとともに 情報の共有を図っている。
○スキーシーズン（少雪のため営業不可となり中止）
糸魚川ジオパークＧＳＬ大会、滑降大会、綱島モータース杯ＧＳＬ大会、スキー子供の日、他県・地域・クラブ等の大会受入れ
○グリーンシーズン
オートバイ、４輪バギー走行会、塩の道コンサート、新そば祭り、パラグライダー教室
ドローンの販売、イベントの実施　等

⑵利用状況

（単位：人）

	平成２９年度	平成３０年度	令和元年度
指定管理者名	（株）糸魚川シーサイドバレー	（株）糸魚川シーサイドバレー	（株）糸魚川シーサイドバレー
総利用者数	49,208	51,448	19,457
塩の道温泉	16,278	16,497	16,433
ホワイトクリフ（宿泊）	3,920	5,431	3,024
索道（リフト）	29,010	29,520	0

「利用者サービス」における市の状況分析	・塩の道温泉の利用者数については、毎年16,000人で推移しており、地元に根付いた温泉施設であることから地域振興につながっている。 ・令和元年度については、少雪のためスキー場オープンができなかったことから、索道（リフト）の利用はなく、ホワイトクリフ宿泊者数は例年に比べ、2,000人近く減少した。 ・令和２年度からパラグライダー事業も開始しており、グリーンシーズン事業を強化して、１年を通じてスキー場全体の利活用による誘客を進めていく必要がある。

⑶収支状況

（単位：千円）

区分			平成２９年度 計画	平成２９年度 実績	平成３０年度 計画	平成３０年度 実績	令和元年度 計画	令和元年度 実績	２年度(予算) 計画
営業損益	売上高	指定管理料	28,000	28,000	28,000	28,000	28,000	81,000	39,000
		修繕委託料	26,500	27,706	26,000	33,988	20,000	19,999	23,000
		利用料金	111,200	91,347	111,700	95,068	114,500	30,743	101,300
		営業収入	57,800	52,980	58,800	53,582	62,000	21,791	61,450
		その他営業収入	10,000	14,023	10,000	15,239	11,000	20,428	11,000
		小計	233,500	214,056	234,500	225,877	235,500	173,961	235,750
	原材料費	ホテル	17,000	14,655	17,000	16,213	17,500	11,032	16,500
		歩荷茶屋	7,500	6,945	7,500	6,750	8,000	4,767	7,100
		レストラン	4,000	3,611	4,000	3,650	4,000	955	4,000
		レンタル	1,000	1,165	1,000	2,013	1,000	374	1,300
		ドローン		2,581		3,811		1,426	3,100
		小計	29,500	28,957	29,500	32,437	30,500	18,554	32,000
	販売費一般管理費	人件費	83,560	80,044	87,060	80,912	88,060	57,849	83,850
		修繕費	31,400	25,558	28,500	35,365	35,400	34,128	30,000
		光熱水費	22,520	23,713	22,520	24,103	24,000	17,605	24,470
		業務費	30,560	30,191	30,350	29,815	31,950	19,426	31,250
		維持管理経費	3,060	2,766	3,070	2,716	3,540	3,464	3,290
		使用料及び賃借料	15,300	15,158	15,800	15,208	15,300	11,393	16,600
		租税公課	13,950	7,803	14,000	10,039	14,550	9,132	9,400
		管理諸費	5,850	4,531	5,900	4,556	5,900	3,822	5,250
		小計	206,200	189,764	207,200	202,714	218,700	156,819	204,110
	営業利益		-2,200	-4,665	-2,200	-9,274	-13,700	-1,412	-360
	利益率（売上高営業利益率）		-0.9%	-2.2%	-0.9%	-4.1%	-5.8%	-0.8%	-0.2%
営業外損益	営業外収益	雑収入	3,000	1,636	3,000	1,509	3,500	2,538	1,500
		小計	3,000	1,636	3,000	1,509	3,500	2,538	1,500
	営業外費用	借入利息	500	927	500	941	500	1,472	950
		小計	500	927	500	941	500	1,472	950
	差引		2,500	709	2,500	568	3,000	1,066	550
特別損益等	※1			909		163		560	
	※2			0		0			
	差引			909		163		560	
	税引前当期純利益			-3,047		-8,543		214	
	※3		300	180	300	180	300	180	190

※1　特別利益　　※2　特別損失　　※3　法人税等

当期純利益	0	-3,227	0	-8,723	0	34	0
リース債務		1,865		3,348		2,845	

「収支状況」における市の状況分析	支出面については、修繕を自社対応で行うなど、経費削減に努めている。 特に令和元年度は、少雪によりスキー場をオープンできなかったため、リフト電力の契約を止めたほか、勤務調整を行うなど、光熱水費や人件費の削減に努めたところであるが、協定のリスク分担に基づき、指定管理料の増額を行った。今後とも、通年の収入確保を図る必要があることから、グリーンシーズンにおいても収益を向上する取組が不可欠である。

６ 公の施設の設置目的と全体評価

<table>
<tr><td rowspan="8">検証等</td><td></td><td colspan="3">市の評価</td></tr>
<tr><td rowspan="5">評　価</td><td>設置目的</td><td>目標管理（評価指標）の再掲</td><td>指標別評価</td></tr>
<tr><td rowspan="3">交流人口の拡大を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与する。</td><td>利用者の安全確保、適切な施設管理（索道）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>索道利用者数の増加</td><td>－</td></tr>
<tr><td>利用料金収入の達成状況</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価内容</td><td>総合評価</td></tr>
<tr><td colspan="2">市民の健康増進、及び県外観光客の誘客、並びに地元雇用による地域経済の活性化につながっている施設であり、設置目的に合致している。
令和元年度は少雪によりスキー場がオープンできず、索道収入は激減、市内の学校、サークルの合宿等が実施できなかったが、市民の健康増進及び体育の向上に寄与する重要な施設である。
地元産のお米、地酒、加工品等の販売を積極的に行っており、地域振興及び地場産業振興に寄与している。</td><td>B</td></tr>
<tr><td>課題検証</td><td colspan="3">・観光関係者（宿泊施設・ＪＲ・観光協会など）とタイアップし、スキーを旅行行程の一つとした旅行商品の作成など、新たな利用者確保が求められる。
・グリーンシーズンにおけるスキー場での新たな取組（パラグライダー等）について、営業活動の強化が課題である。
・スキー場施設にかかる維持管理については、施設全体の老朽化が進んでおり、索道・宿泊施設・食事施設などの改修費用が必要となることが見込まれる。</td></tr>
<tr><td>改善事項</td><td colspan="3">・グリーンシーズンを含む年間を通したスキー場の活用について、今後の事業展開と営業活動に期待する。
・気軽に行けるスキー場づくりや競技スキーの誘致など、新しいニーズの営業展開に期待する。</td></tr>
</table>

【総合評価】

評価区分	判断基準
AAA	優良である
AA	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

公の施設指定管理者選定委員会（評価委員会）の意見書

1　指定管理者名　　株式会社糸魚川シーサイドバレー

2　対 象 施 設　　糸魚川シーサイドバレースキー場

3　評価委員会の意見

※暖冬少雪により、スキー場としての通常運営はできなかったが、相対評価として以下のとおり評価する。

項目	意　　見
管理運営 利用者サービス 収支実績	・少雪のため施設の営業停止をしたことはやむを得ないものであるが、暖冬になった場合を想定した少雪対策をはじめとする、今後の代替案を検討願いたい。 ・グリーンシーズンの取組は、収支状況が不安定であることから、実施について市と協議のうえ、適切に対応していただきたい。
全体評価	・借地契約については現状を今一度確認のうえ、地代の見直しを含め検討願いたい。 ・市と指定管理者は、施設の設置目的及び意義を再確認することとし、施設の設置目的に沿った成果を得られているか検証願いたい。その上で、各年度の収入及び支出を分析し、適正な指定管理料の算定につなげていただきたい。 ・市においては、今後想定される大規模改修等の費用を踏まえ、民間への譲渡などを含めて施設のあり方について検討願いたい。
その他	・評価票については施設の設置目的に対する指標と成果が求められるため、評価項目と合わせて改良願いたい。